

東海インカレ 嶋岡・守屋が優勝

名大 OB
大西健夫

第11回東海インカレ 2014年6月29日 静岡県富士宮市

今年度も東海地区の学生王者とインカレロングの東海地区代表選手を決める東海インカレが開催された。

2014年6月29日 静岡県富士宮市
東海インカレ兼 東海学連ロングセレ

晴天の中での開催

今年度の東海インカレは静岡県富士宮市「奇跡の森」を舞台にして開催された。東海学連 146名、オープンクラス 82名の、合計 228名の方が参加された。

開催時期が例年梅雨のシーズンであり、天候に恵まれないことが多い大会である。今年も朝は雨が降っていたものの、徐々に天候が回復し、会場時間には雨が上がり、晴れ間がのぞく中で開催となった。

テレイン「奇跡の森」

本大会のテレイン「奇跡の森」は、昨年度のインカレロングと同一のテレインである。そのため、選手権クラスを走るほとんどの選手が、一度ロングレースを経験しているテレインである。型斜面の平坦なテレインであり、また、近隣富士地区のテレインと比べて、私有地や道の割合が多いテレインとなっている。

本番を見据えたコース

今回のセレクションレースについて、コースプランナーからは昨年度のインカレロングのコースを参考に、インカレ本番での入賞を想定したウイニングでのコース設定をしたと聞いている。

一方で、新人クラスは、コース設定上、立入禁止エリアに近付いてしまう可能性があり、その対処に苦慮したと聞いた。

レース結果

男子選手権クラスで優勝したのは、昨年度の東海インカレにおいて準優勝だった名古屋大学4年 嶋岡雅浩選手であった。嶋岡選手は、序盤は出遅れたものの徐々に巻き返し、トップラッ



←ME入賞者

右から
1位 嶋岡
2位 牧
3位 稲葉
5位 樋口
6位 山本

(所属・敬称略)

WE入賞者→

右から
1位 守屋
2位 星
3位 松井
4位 伊東
5位 川島
6位 藤

(所属・敬称略)



プを出したレッグは1つであったが安定した走りを見せ、見事に優勝した。

一方、女子選手権クラスで優勝したのは、昨年度のインカレロングで6位入賞を果たし、個人実績枠を獲得した椋山女学園大学3年 守屋舞香選手であった。守屋選手は多くのレッグでトップタイムを出し、2位以下に7分以上の差をつける快走であった。

実行委員長として

今回、大会実行委員長を務めてまず思うことが、表立った事故もなく大会を成立させ、終わることが出来た、という安堵である。実行委員会が立ち上がった直後は思うように運営者が集まらず苦勞していたりするなど少人数運営で、かつ事前準備も充分に行えたとはいえない中で、大会が無事成功できたのは、他の運営メンバーを始め、参加者の方々の協力があってのこ

とである。この場を借りて、お礼を申し上げたい。

また、これだけ多くの参加者が集まった中で大会を開催できたことをうれしく思う。過去のデータを見返すと、私が入部した4年前の東海インカレの参加者は95名(東海学連のみ)であったようだ。このことから分かるように、東海学連の学生の数は近年大幅に増加している。また、インカレロングの選手権クラスの男子の地区学連枠も、昨年度に比べて大幅に増えている。今後も切磋琢磨して東海学連の発展につなげてほしい。

(記事：大会実行委員長 大西健夫)